

# IGF 2025 NRI Meeting第9回報告

開催日時: 2025年9月24日22時-23時

日本からの出席者: 山崎

## WSIS+20 ゼロドラフトへの意見提出

- 各国のNRIは、WSIS+20のゼロドラフトに対する書面意見募集に応じるよう奨励されている。延長された締切は10月3日。
- 複数のNRI(例: カリブ海IGF、イタリアIGF、ウクライナユースIGF)が意見提出を確定または検討中であることを確認した。提出を予定しているNRIは、NRIメーリングリストへお知らせください。
- 複数のユースIGFから、ゼロドラフトに若者に関するより強い表現を含めるべきとの提案があり、貢献する可能性があります。
- NRIは、関連するタイムゾーンに応じて、10月13日～14日のWSIS+20協議への参加も推奨されます。
- 詳細はこちら: <https://publicadministration.desa.un.org/wsis20>.
- IGF事務局は、記録のため、これらの締切日を記載した別途のリマインダーを全員に送付します。

## NRIの影響に関する調査

- 参加者は、IGF事務局がNRIの影響に関する意見収集のための調査を準備することに合意しました。
- 調査は具体的であり、過度な時間を要するものであってはならない。
- 調査内容に関する提案:
  - NRIが地域・地方・グローバルコミュニティにどのように統合されているか、および将来の役割を探る。
  - 国家的・グローバルレベルにおけるNRIの最も重要かつ具体的な影響を把握する(例: 国家レベルにおけるNRIの最も重要な影響は何か?)。
  - 形式的な参加を超えた貢献(議題設定、意思決定、若年層の関与など)の評価。
  - NRIが立法、公共政策、政府(行政・司法・立法機関)との関わりに及ぼす影響の程度を考慮。
  - NRIの影響の多くは直接的な意思決定ではなく間接的なものであることを認識。
  - 国連レベルでの不確実性(例: IGFの任務が2026年以降更新されない場合)にNRIがどう対応するか、また「最悪のシナリオ」下でのNRI継続に関する合意があるかについての質問を含める。

## 今後の手順

- 全てのNRIは、月曜日終業時まで上記内容に関するフィードバックを共有するよう要請される。

- 事務局は来週金曜日までに、調査票の草案を1つ以上回覧し、検討と承認を求める。
- 調査票の公開は10月中旬を予定し、2週間実施することで、結果の分析と整理に十分な時間を確保する。

## 今後の関与機会

- アジア太平洋地域インターネットガバナンスフォーラム（APrIGF：10月11-14日）
- ラテンアメリカ・カリブ海地域インターネットガバナンスフォーラム（LACIGF：11月5-6日）
- 両イベントにおいて、NRIがWSIS+20に関する議論に積極的に関与する機会が設けられます。詳細が確定次第、コーディネーターがNRIリストにて共有します。